

# ドイツ語オンライン授業 — 大学教員の悪戦苦闘 — 1年間を振り返って

2021年3月14日(日)

JACTFL第9回シンポジウム (オンライン)

神谷善弘 (大阪学院大学)

# はじめに

- ▶発表者は、2020年7月5日に開催された第1回JACTFLオンラインシンポジウムにて「ドイツ語オンライン授業－大学教員の悪戦苦闘－」というタイトルで、大阪学院大学2020年度前期「ドイツ語入門Ⅰ」における教育支援システム（OGU-Caddie）及びYouTubeを利用した〈オンデマンド型授業〉に関する中間報告を行った。
- ▶今回の発表では、後期「ドイツ語入門Ⅱ」〈オンデマンド型授業＋対面授業〉の報告を加え、授業評価の結果も踏まえて1年間を振り返り、次年度以降への展望を考える。

# 大阪学院大学 外国語学部 英語学科

2020年度 前期 7コマ

演習科目 4コマ

専攻科目 1コマ

共通科目 2コマ

	月	火	水	木
1				ドイツ語入門Ⅰ
				YouTube
2	ドイツ語入門Ⅰ	留学準備Ⅰ	ゼミナールⅢ	
	YouTube	Zoom	Zoom	
3				ゼミナールⅡ
				Zoom
4			ゼミナールⅠ(再)	ゼミナールⅣ
			メール課題	Zoom

# 大阪学院大学 外国語学部 英語学科

2020年度 後期 7コマ

演習科目 3コマ

共通科目 4コマ

(+リレー講義)

	月	火	水	木
1				ドイツ語入門Ⅱ
				YouTube
2	ドイツ語入門Ⅱ	ドイツ語 (会話・中級)	ゼミナールⅢ	
	YouTube + 対面	自習課題	Zoom + 対面	
3			ドイツ語 (会話・中級)	ゼミナールⅡ
			対面	Zoom + 対面
4		リレー講義 6回 YouTube	リレー講義 3回 YouTube	ゼミナールⅣ
				Zoom + 対面

# 前期 共通科目

## ドイツ語入門 I (月2・木1)

- ▶履修者40名
- ▶105分授業×週2回、13週
- ▶秋田、江口、神谷、他『イン・ドイツ  
チュラントードイツ語インフォメー  
ション **映像付** - 』（朝日出版社）
- ▶教科書の前半部を扱う

## 朝日出版社によるサポート

- ▶ 学生が音声と映像をダウンロード可に  
(通信料の削減に！)
- ▶ 教科書3課までのPDFファイルの提供  
(教科書のネット販売が5月！)



## 4月10日～5月2日の授業

- ▶ 課題 1 : 《自己紹介》と《ドイツ語を選択した理由》を、それぞれ200～300字程度書いてください。
- ▶ 課題 2 : インターネットを用いて、ドイツ語圏の国々（ドイツ語が話されている国々）について調べなさい。

## 4月10日～5月2日の授業

- ▶ 課題 3 : 教科書『イン・ドイツラン  
トードイツ語インフォメーション 映像  
付ー』の映像と音声、以下のサイト  
から視聴できます。

(ここでは、URLを省略します。)

## 4月10日～5月2日の授業

※「アルファベット」「あいさつ」「数詞」を繰り返し視聴し、ドイツ語の発音に慣れ親しんでください。

## 4月10日～5月2日の授業

※「Lektion 1」「Lektion 2」の《ドイツ語字幕付》及び《字幕なし》を繰り返し視聴し、ドイツ語の発音に慣れ親しみながら、会話の内容も類推しておいてください。

## 5月7日～7月15日の授業

- ▶ YouTubeによるオンデマンド型授業
- ▶ 教育支援システムOGU-Caddieを利用
  - 授業動画の限定公開
  - 発音・語彙・文法等の説明
  - 練習問題の解答を提示
  - 小テストの実施

## 後期 共通科目 ドイツ語入門Ⅱ（月2・木1）

- ▶ 履修者38名
- ▶ 105分授業×週2回、13週
- ▶ 秋田、江口、神谷、他 『イン・ドイツユラントードイツ語インフォメーション **映像付** - 』（朝日出版社）
- ▶ 教科書の前半部復習後に、後半部を扱う

## 対面授業 8回実施（26回中）

- ▶ 10月01日 29名が出席（履修者38名中）
- ▶ 10月15日 32名
- ▶ 11月05日 29名
- ▶ 11月19日 21名
- ▶ 12月03日 21名
- ▶ 12月17日 16名
- ▶ 01月14日 10名
- ▶ 01月25日 10名

eラーニングの専門家  
鈴木克明氏

熊本大学大学院 教授システム学専攻

「無理はしないで同じ形を目指さないこと：  
平時に戻るまでの遠隔授業のデザイン」  
(2020)



# 国立情報科学研究所

【第4回】4月からの大学等遠隔授業に関する取組状況共有サイバーシンポジウム  
(4/17オンライン開催)

<https://www.nii.ac.jp/event/other/decs/#04>

# 平時に戻るまでの遠隔授業のデザイン7か条

1. 対面授業をやらなくても立派な通学制課程
2. 無理はしない
3. 同じ形ではなく同じ価値を追求する
4. 順序を変える
5. 大切なのは学生が学び続けること
6. 非同期で学生の学習活動を支える
7. 平時になっても使えるオンラインの要素を探す  
→平時が戻った後にはICT教育利用の本格化を

## 第2条. 無理はしない

- 有事に平常通りの教育をやろうとしない(Rebecca, 2020)

これまでの授業のすべてを未来永劫にわたってオンラインに移行することが最終目的地ではない。暫定的な試みである

- もともとオンラインでやる予定でなかったことを無理にオンラインに移行しようとする と莫大な手間暇や環境整備が必要になる

- まっとうなオンライン教育は、素人にすぐにできるものではない。できる範囲で「学びを止めない」ことが関の山だと考え、期待値を下げる

## YouTube授業動画

- ▶ 動画の編集

DSS (Digital Support Service) 職員の  
サポート

- ▶ 動画のアップロード

教務課職員のサポート

## YouTube授業動画

- ▶ 4月中旬：撮影の練習  
3～4年次ゼミ生や卒業生に視聴してもらい、アドバイスをもらう！
- ▶ 4月下旬：撮影・編集の開始

## 参考になったたテレビ番組

- ▶ KBS京都 + 京都市教育委員会 + 京都新聞社  
がんばれ！京都の子どもたち  
～オール京都で学びの支援を～  
(4月20日～30日、5月18日～29日)
- ▶ テレビ大阪 + 大阪市教育委員会  
おうちスクール大阪  
(5月18日～29日)

## 撮影時に注意したこと

- ▶ ゆっくりとはっきりと話す！
- ▶ アクションも取り入れる！
- ▶ 発音練習では間が大切！
- ▶ 10分程度で終わる！
- ▶ 長くても15分未満！

## YouTube授業動画

- ▶ 前期と後期で合計110本
- ▶ 限定公開の授業動画を2本紹介します！

No86 (10月撮影) 分離動詞

No89 (10月撮影) 数詞60～100



# 受講生による授業評価

## 2020年度 授業評価

### <入力項目>

1. OGUメールのアドレスを入力してください
2. 回答科目の曜日・講時を選択してください
3. 授業担当者より指示された管理コードを選択してください

### <評価項目>

※ 以下の各評価項目に関しては、次の5段階で評価してください。

なお、評価にはZoomやOGU-Caddieを利用した、遠隔授業実施期間の対応を含みます。

①全くそう思う ②そう思う ③どちらでもない ④そう思わない ⑤全く思わない

1. 総合的に見て、この授業に満足している。
2. この授業の内容に興味を持っている。
3. この授業を受講して、シラバスの到達目標(学習成果)として修得できる知識や能力を得ることができた。
4. 授業担当者は、十分に授業の準備・計画を行い、熱意をもって授業にのぞんでいた。
5. 授業担当者は、学生の理解度を確認しながら授業を進めた。
6. 授業担当者の話し方や説明の仕方はわかりやすかった。
7. この授業での板書や説明資料などはわかりやすかった。
8. 授業担当者は、学生とのコミュニケーションがとれていた。
9. 授業改善のための自由記述は、その後の授業に反映されていた。
10. 講義スケジュールはシラバスに沿っていた。
11. 私は、シラバスに記載された「授業外学習の指示」を参考にして学習を進めた。

※ 以下の6項目に関して、それぞれ5つの質問の中から選んでください。

なお、評価にはZoomやOGU-Caddieを利用した、遠隔授業実施期間の対応を含みます。

12. この授業の進行速度は適切である。

①遅すぎる ②やや遅い ③適切 ④やや速い ⑤速すぎる

13. この授業の内容量は適切である。

①少なすぎる ②やや少ない ③適切 ④やや多い ⑤多すぎる

14. この授業の難易度は適切である。

①易しすぎる ②やや易しい ③適切 ④やや難しい ⑤難しすぎる

15. この授業を選択するにあたって、シラバスのこの項目を参考にした。(複数回答可)

①講義(演習)テーマ ②講義(演習)概要 ③到達目標 ④講義スケジュール(授業計画) ⑤評価基準・方法

16. 私のこの授業での出席率は、次のとおり。

①100% ②99%~80% ③79%~60% ④59%~40% ⑤39%以下

17. この授業のために、毎回平均して次の時間程度、予習や復習を行った。

①2時間以上 ②1時間30分程度 ③1時間程度 ④30分程度 ⑤0時間

授業評価に参加してくれた学生は少数であった。

1~11の項目では5段階評価の「②そう思う」が多かった。

まずまずの満足度であったと考えることができる。

受講生の感想  
(1月25日、最終授業日)

- ▶ YouTube動画の感想
- ▶ 対面授業の感想

## 感想1

- ▶YouTubeによるドイツ語の遠隔授業の感想は、とても分かりやすかったです。他の授業もYouTubeで遠隔授業をしましたが、ドイツ語が一番やりやすかったです。
- ▶対面授業によるドイツ語の感想は、やっぱり画面越しではなく、対面授業の方が耳にも頭にも入ってきました。家でやっていると、自宅の安心感の睡魔やその他の雑念で、どこか集中しきれないでいたので、2週間に1回対面授業があっただけ良かったです。

## 感想2

- ▶ 遠隔授業を受けて感じたことや思ったことは、まず遠隔授業だと自分のタイミングや時間で見れるし、分からない所があったらもう一度同じ所を何回も見れるので良かったです。
- ▶ 対面授業を受けて感じたことや思ったことは、直接会って授業を受けていると集中力がとぎれにくいし、分からない所があったりすると先生に直接質問することができるので、自分は対面授業の方が良かったです。

## 感想3

- ▶YouTubeの動画は視聴しやすく、また理解しやすかった。他の授業でも動画で出す人もいたが、断然良かった。過去の動画も見れて、復習を頑張ろうと思う。
- ▶対面の授業でのドイツ語は、やはり感じる物が違い、現地に来てわかることが多く、又友達もでき、とても満足のいく授業であった。お体に気をつけてください。

## 感想4

- ▶YouTubeでの授業では、好きな時間に受けれるので良かったと思います。分からない所は、YouTubeで動画を見直せて勉強になりました。前期でのYouTubeの授業は、初めてのドイツ語とのこともあり不安でしたが、繰り返し勉強を続けていけばドイツ語が楽しく感じました。
- ▶対面授業では、YouTubeでやっていた発音の練習を、実際に練習をすることができてうれしかったです。分からない所も友達に聞いて良かったです。ドイツ語の映像を見た時は、ドイツの街がとてもキレイで、ドイツ語を勉強していつか行けたらいいなと思いました。ありがとうございました。

## 感想5

- ▶ オンライン授業は、正直少しやりにくい部分がありました。オンデマンド式だと動画をためてしまった日があったので、Zoom授業で受けたかったです。オンラインテストは分かりやすいように工夫されていたので、とてもやりやすかったです。
- ▶ 対面授業では、楽しくドイツ語を学べたと思います。動画を見たり音楽を聞いたり、とても興味深かったです。2年次でもドイツ語を取ろうと考えているので、春休みは検定に向けての勉強に取り組みたいです。

## 感想6

- ▶ 遠隔授業は、小テストは良かったです。対面授業を受けていたという理由もあったとは思いますが、やりやすいテストでした。問題もわかりやすく良かったです。YouTubeの動画はわかりやすかったです。本当に。でも見るのに疲れてしまうので、集中力が続かなかったです。
- ▶ 対面授業は、とても楽しく最高でした。授業内容はもちろん。対面授業があったおかげで、色々な人と出会い、パートナー練習で発音を覚えることが出来、友達も作ることが出来ました。誰かと話す機会を作ってくださいって本当にありがとうございます。神谷先生のドイツでの経験や教え子の色々な事が聞けてよかったです。



## 感想7

- ▶ YouTubeやOGU-Caddieを使用した授業の感想は、勉強しやすかったです。いつでも見れること、そして何度でも見返せること、途中で止めることができることにより復習がしやすく、焦ることなく勉強に取り組み、集中することができたと思います。
- ▶ 対面授業の感想は、家で受ける授業と違い、発音などが勉強できてよかったです。YouTubeを見たり、文章だけでは分かりづらい部分を対面で勉強できました。

## 感想8

- ▶ 去年はコロナの影響で大学に全然行けずYouTube授業でしたが、YouTube授業では分からない所などは質問できませんが、発音など聞き返すことができたのでよかったです。
- ▶ 月に2回の対面授業では、朝起きるのがしんどかったですが、友達とかと受ける事などによってペア練習などができたり、実践して学ぶことやドイツの動画などを沢山見たりして、とても楽しかったし、今後もドイツ語を学びたいと思いました。

## 感想9

- ▶ この授業の多くがYouTube上での授業となりましたが、一つひとつの動画は長すぎず、見やすく良かったです。対面授業が本来の形ではありますが、動画配信は何度も見返すことができるので、その点はとても良かったと思います。
- ▶ 私が取っていた授業の中では、ドイツ語の授業は対面が多く、結構楽しみにしていました。動画だけではわかりづらい発音などをパートナー練習でおぎなえたので良かったです。

## 感想10

- ▶ YouTubeでの動画は短く分けられていて、とても見やすかったです。掲載期間が長かったため、繰り返し見ることができたのが遠隔授業の良いところだなと思いました。
- ▶ 画面越しでは分からなかったり分かりづらかったりする発音など、直接聞くことができたので良かったです。先生のドイツに行った話なども聞けて良かったです。ありがとうございました。

## まとめ（率直な思い）

- ▶ 原作、脚本、監督、主演、編集等の全てを一人でこなすのはとても大変です。
- ▶ 遠隔授業という「教育実習」を経験している感覚です。
- ▶ 起きている時間はずっと遠隔授業のことを考えており、休みがない感じでした。

## まとめ（率直な思い）

- ▶ 授業評価や学生の感想から鑑みると、ある程度の教育効果があったと自負しています。
- ▶ 残念だったのは、マスク着用ゆえに、学生の顔と名前を全く覚えることができなかったことです。

## 今後へ向けて

- ▶2021年度前期開講の「ドイツ語入門Ⅰ」は全て対面授業で行われる予定である。
- ▶2020年度と同じ教科書を用いるので、作成したYouTube授業動画は、予習や復習に役立てることもでき、欠席者に視聴してもらうことも可能である。

## 今後へ向けて

- ▶ 発展的な学習に関する新たな授業動画の作成に挑戦することも考えられるかもしれない。
- ▶ 時間的余裕があれば、ICT教育に関するスキルアップをしてみたい。



## スペシャルサンクス

- ▶ 朝日出版社
- ▶ 複言語教育研究会
- ▶ 大阪学院大学 教務課職員
- ▶ 大阪学院大学 D S S 職員
- ▶ 大阪学院大学 神谷ゼミ卒業生
- ▶ 大阪学院大学 神谷ゼミ在學生

ご清聴ありがとうございました！

Vielen Dank für Ihre Aufmerksamkeit!